

12 む す び

本市の水道事業会計に関する財政状況については、概ね次の(1)及び(2)のとおりと分析される。

(1) 損益勘定

当年度の損益の状況を見ると、純利益は、前年度と比較して 12,950,718 円 (7.3%) 増の 191,094,884 円となっている (P5)。これは、給水収益の増や支払利息の減が主な要因となっている。

給水収益は 855,432,078 円で、前年度と比較して 6,178,530 円 (0.7%) の増となっている。これは、能代火力3号機建設関連の事業者等の団体用使用水量が増となったことによるものである。今後、北部地区への配水管整備事業の実施により、給水区域が拡張されるものの、人口の減少等に伴い、給水収益は減少するものと見込まれている。

費用については、節減に努めてきているが、浄水場の維持管理費や運転管理費等が増となっており、今後、北部地区の配水管整備事業や配水管の老朽化に伴う更新事業が引き続き進められることから、減価償却費等の増加が見込まれている。

(2) 貸借対照表勘定

貸借対照表勘定を見ると、流動資産は、前年度と比較して 148,435,548 円 (25.3%) 増の 735,749,290 円で、流動負債は、前年度と比較して 103,905,455 円 (21.6%) 増の 585,779,739 円となっている (P9)。

流動資産及び流動負債の増は、配水管更新工事等の完了が年度末となり、支払いが翌年度となったことによるものが主な要因となっている。

資金繰りの安定性を示す流動比率は、前年度と比較して 3.9 ポイント向上し 125.8% と 100% を超えており望ましい状況となっている (P38)。

固定負債については、企業債残高の減少により、前年度と比較して、181,605,137 円 (3.4%) 減の 5,215,447,739 円となっている (P9)。

以上のような財政状況を踏まえ、特に次の事項について留意されたい。

(3) 個別留意事項

① 有収率について

経営に大きく影響する有収率は、85.5%で前年度と比較すると0.7ポイント低下している（P3）。県内各市の平均有収率（78.6%）を上回っているが、有収率の推移を見ると改善されていない状況が続いている。

年間総配水量を分析すると、漏水量が増えている状況にある。引き続き漏水対策を計画的に実施し、設備の適正な管理に努め、有収率向上を図りたい。

② 加入促進について

加入率が伸び悩んでいる地区への加入促進チラシの郵送や広報に加入促進記事を掲載したほか、新たに、下水道を使用し水道を使用していない世帯への個別訪問を実施するなどの取り組みが行われている。

今後も継続して水道の「安全性」や「安定性」をPRし、加入促進を図りたい。

③ 企業債等について

企業債の当年度末残高は5,590,389千円となっており（P13）、平成19年度をピークに年々減少している。これは、建設改良費の平準化を意識し、償還額の範囲内で企業債の借入を行ってきたことによるもので、評価すべきところである。

企業債元利償還金についての料金収入に対する比率は、28年度全国平均を上回っているが、企業債償還金は35年度をピークに減少していくと想定されていることから、数値は改善されていく見込みとなっている。

今後も企業債の借入については、建設改良事業を十分精査すると共に、経営を圧迫しないよう、計画的に執行されたい。

④ 給水収益の収入率と不納欠損処分について

給水収益の収入率は、前年度と比較して現年度分は増減がなく、繰越分は2.4ポイント低下している。また、不納欠損処分は、個人破産や法人の倒産による件数は増加したが、処分額は減少している（P15）。

未収入額を増やさないように、給水停止サイクルの日数を短縮し、徴収強化に努めているが、新たに、督促状発送前に未納者に対し電話による督促を行い、早期納付や納め忘れがないよう呼びかけ、徴収強化に努められている。

今後も、受益者負担の公平性確保という観点から、業務委託先と十分連携し、未収金が発生した場合は、早期に納付相談や分納誓約書を取り交わすなどの対応に努められ、収益の確保を図りたい。

(4) 総括

水道事業会計は、営業収支比率や経常収支比率、資金繰りの安定性を示す流動比率の状況を見ると、安定した経営状況となっている。

29年度から10年間の経営の基本計画となる「能代市水道事業経営戦略」の投資・財政計画と29年度決算を比較すると、この計画の基準とした28年度同様、純利益などは計画を上回っており、現時点では総体的に計画どおり推移するものと思われる。

今後、人口減少等に伴い給水収益の減少が見込まれる中、有収率の向上や収入の確保、経費節減に取り組み、より一層合理的、効率的な経営に努められたい。